

高齢者・障害者施設の感染対策を 考える感染対策地域支援ネット ワーク (Shiga HAI-net)の構築

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課

新型コロナウイルス感染症対応において認めた高齢者・障害者施設の課題

- 施設間の感染対策に係る知識および技術のレベル、マニュアルの内容に相違がある。
 - 職員間の感染対策に係る知識および技術のレベルに相違がある。
 - 自施設内の対策が適切であるか否かわからない。
 - 平時・有事の対策を相談する専門家が確保できない。

- 1. 関係者が一様に知識レベルを向上させるための研修がない。
- 2. 他施設と情報共有する機会がない。
- 3. 施設内の対策を主導的に推進できる人材が少ない。
- 4. 有事に使えるマニュアルがなかった。

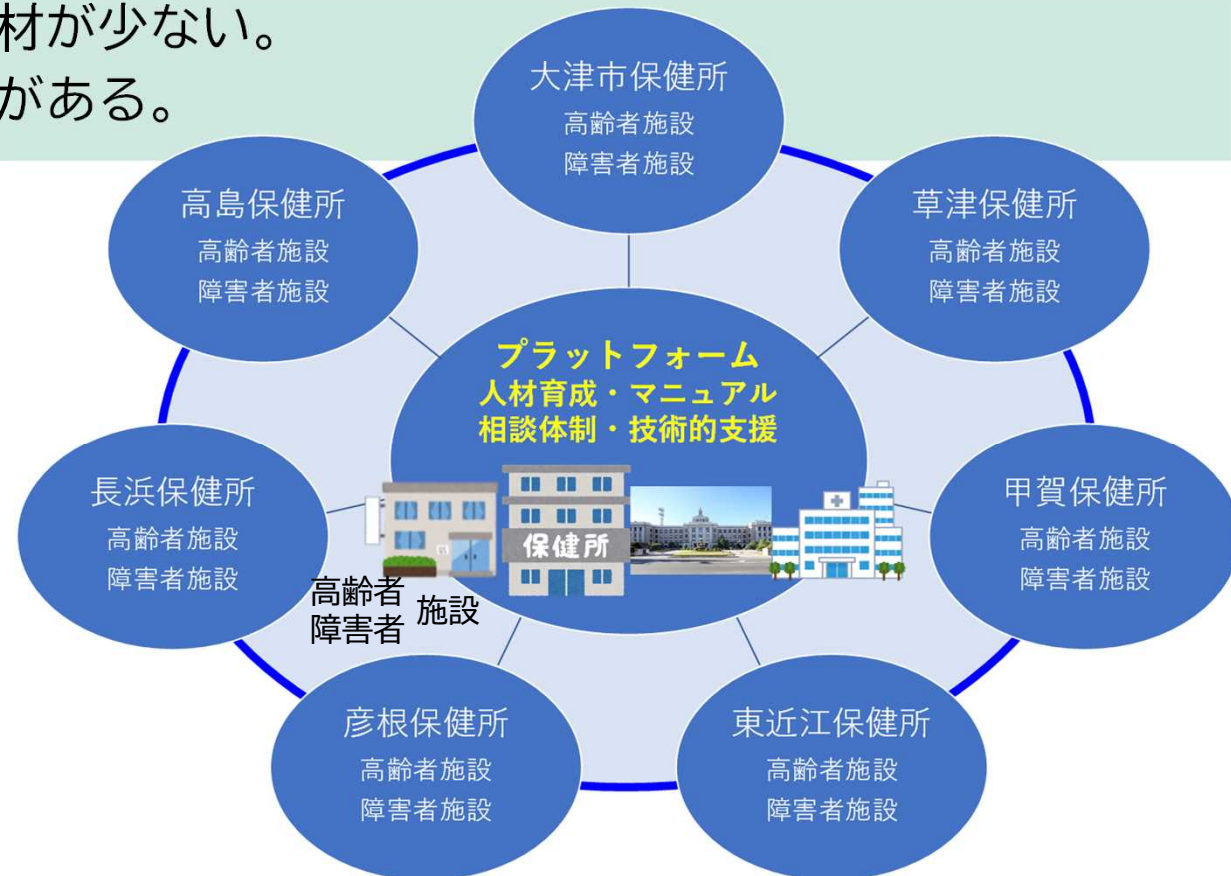
感染対策地域支援ネットワーク (Shiga HAI-net)の構築

課題を新型コロナ感染症対応時の人材育成に係る課題

1. 関係者が一様に知識レベルを向上させるための研修がない。
2. 他施設と情報共有する機会がない。
3. 施設内の対策を主導的に推進できる人材が少ない。
4. マニュアルが有事に使えなかった施設がある。

対応策

1. 関係課、保健所および関係団体が人材育成等を協議する「プラットフォーム」を構築
2. **施設内の感染対策を指導できる人材を養成**
3. **施設間の情報共有機会を提供**
4. 平時・有事の相談体制を構築
5. 専門家からマニュアルへの助言



「プラットフォーム」



感染対策地域支援ネットワーク(Shiga HAI-net)

10年後の目指す姿

1. 各施設でリーダーのもとに適切な感染対策が実施されている状態にある。
2. 各施設が感染対策および事例対応をリーダーを中心に検討することができる。
3. 課題を感染症専門家や保健所と連携して地域で解決することができる。

感染対策地域支援ネットワーク（Shiga HAI-Net）

Shiga Healthcare Associated Infection control Network

設置目的

1. 高齢者施設および障害者施設において科学的根拠に基づく感染対策の実践を推進する人材を養成すること
2. 県内および地域における関係施設、保健所および専門家等による相互支援を推進すること

構成メンバー

1. 県庁関係課（感染対策主管課、高齢者施設主管課、障害者施設主管課）、県内保健所
2. 関連団体
3. 市町
4. 医療機関の専門家

活動内容

1. 研修会の実施
2. マニュアル検討
3. 感染制御リーダーのネットワークの構築
4. 集団発生時の技術的支援

高齢者・障害者施設の人材養成研修 目的 (感染制御リーダー研修、一般研修)

1. 感染制御リーダーの養成および研修の目的

1. 施設における感染対策が科学的根拠に基づいて実施されるために、感染対策を提案、実践および指導できる人材を養成する。
2. フォローアップ研修により、持続的な研修機会および感染制御リーダー活動の先進事例を共有する。
3. 各施設の相互支援を推進するために、リーダー間の地域ネットワークを構築する。

2. 一般研修の目的

1. 施設における感染対策が科学的根拠に基づいて実施されるために、感染対策の基本を理解した職員を育成する。

感染制御リーダー認定研修の募集定員と対象

施設における感染管理の中心的な役割を担う職員を感染制御リーダーと呼ぶ

1. 平時から施設内の感染対策指導を行う。
2. 感染症発生時対応を主導的に行う。
3. マニュアルの整備・見直しに関わる。
4. 保健所等が感染対策に関する連絡をする際の窓口となる。

感染制御リーダー認定研修の募集定員と対象

定員

1. 大津市保健所および草津保健所管内 保健所管内当たり10施設・20名
 2. 他の保健所管内 保健所管内当たり5施設・10名
- ※各施設から介護リーダーと看護リーダーの2名の参加を想定

対象

1. 入所施設（高齢者・障害者施設）の常勤職員であること。
2. 職員に指示・命令を行うことのできる指導的立場の職員であること。
3. 施設の感染対策向上に意欲があること。
4. 施設長が施設における感染対策を指導する者として認め、推薦書提出された職員であること。
5. 所属施設内に感染対策チームがあることもしくは設置予定であること
6. 所属施設にマニュアルがあることもしくは第3回研修までにマニュアルを作成できること
7. 更新のための単位を取得することが可能であること

研修プログラム 案

	研修テーマ	講師	参加方法	リーダー 研修	一般 研修
1日目	感染症総論、感染対策（標準予防策、経路別対策）、疾患各論 サーベイランス、記述疫学 療養環境整備、洗浄・消毒、ゾーニング、 集団発生時対応 マニュアル作成	外部専門家	集合	○	(○)
			WEB Zoom, Youtube	—	○
2日目	指導と相談対応 確認試験（10分程度、6割合格）	外部専門家	集合	○	(○)
			WEB Zoom, Youtube	—	○
3日目	午前 手洗い実習、PPE着脱実習、おむつ交換実習、ゾーニング実地指導、意見交換もしくはラウンドなど 午後 マニュアル検討	地域ICN 保健所	施設内 研修	○	—

巡回支援

1. 専門家が各施設を訪問し、研修、巡回指導および各種相談対応を行っている。令和3年から行っている事業である。
2. 座学もしくはは集団研修による研修を補うために、施設特異的な技術的助言を行う。
3. 令和6年度以降は、リーダー研修に参加した職員が所属する障害者施設を優先的に訪問する。
4. 年間20施設を上限として対応する。

感染制御リーダーおよび感染制御リーダーが所属する施設への インセンティブ

1. 県HPに感染制御リーダーが在職する施設のリストを掲示する。
2. 感染制御リーダーの名称表示を認める。
3. 感染制御リーダーおよび感染制御リーダーが在職する施設には、
認定ロゴおよび認定証の使用を認める。
4. ケアマネージャーおよびソーシャルワーカー等へ感染制御リー
ダーが在職する施設を示す。

一般研修の対象者

一般従事者研修の対象者

1. 高齢者・障害者事業所の職員であること（入所、通所、居宅を問わない）。
2. 事業所責任者が参加を認めること。

※研修プログラムの1日目と2日目までの研修テーマが受講可

令和6年度の予定（案）

時期	内容
令和6年3-4月	研修の会案内
令和6年6-7月	第1回研修会（リーダー研修および一般研修）
	第2回研修会（リーダー研修および一般研修） 確認試験
令和6年8月	第3回研修会（リーダー研修）
令和6年10月	フォローアップ研修